

災害

もしもに備える

日本全国、災害の起こらない安全な場所はない。そう思わせるほど、日本各地でさまざまな災害が起こっています。阪神淡路大震災や新潟中越地震など、大きな地震があっても田村市とは無縁と誤っていても多いのではないのでしょうか。しかし、あの日は突然やってきました。今まで感じたことのない強烈な揺れ。マグニチュード9.0の日本周辺における観測史上最大の地震です。その後の津波被害や原発事故は、今もなお多くの住民を苦しめています。

雨が降りました。幸いにも大きな被害は出ませんでした。今年2月には交通機関や生活に支障が出るほどの大雪が毎週のように降りました。埼玉県や茨城県などでは、竜巻の被害も起こっています。また、東京都三鷹市では大量のひょうが降り積もりました。

災害はいつ起こるか分かりません。突然の事態に慌てず対処できるように、日ごろから準備しておくことが大切です。今あなたの家ではどんな防災グッズが準備されていますか？

- つ一例です。参考にしてください。
- 現金
 - 非常用ライト
 - 非常食品
 - 水3リットルくらい
 - タオル
 - 救急医薬品・常備薬
 - ティッシュ
 - ウエットティッシュ
 - 携帯ラジオ
 - 雨具
 - ポリエチレンごみ袋
 - 油性マジック
 - 下着
 - ひも・ロープ

近年はゲリラ的な豪雨が各地をピンポイントで襲い、目を疑うほどの被害をもたらしています。今年8月2日には船引町で昭和51年以降では観測史上最大の1時間に63ミリの非常に激しい

脅威

備え

非常時の持ち出し品は「あれば便利なもの」より「無ければ困るもの」を準備します。使用や消費の期限を確認し、普段の生活で使っているものと併せて、更新を忘れないようにしましょう。

気象情報に注目！

気象庁が発表する警報や注意報、気象情報などは、災害を防止・軽減するために重要な役割を果たしています。

災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表されるのが「**注意報**」、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表されるのが「**警報**」です。さらに、重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想される場合には「**特別警報**」が発表されます。最近耳にする言葉では「**記録的短時間大雨情報**」があります。これは、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したりしたときに発表されます。その基準は、1時間の雨量の歴代1位または2位の記録が参考にされます。



自らの職場は自らが守る

第6回田村地方自衛消防操法大会が9月11日、市運動公園駐車場で開かれ、各事業所が訓練の成果を披露しました。

- 3人操法：1号消火栓（参加12チーム）
最優秀賞：社会福祉法人三春町社会福祉協議会
- 2人操法：2号消火栓（参加8チーム）
最優秀賞：社会福祉法人田村福祉会 特別養護老人ホーム 船引こがし荘
- 2人操法：消火器（参加18チーム）
最優秀賞：(株)田村自動車教習所



情報

災害が起こったとき、重要になるのは災害の詳細な状況と避難などの情報です。素早い情報の収集は、災害による被害を最小限に食い止めることになります。テレビやラジオ、インターネットなどは、リアルタイムの情報を得る有効な手段です。

市では、より身近で最新の情報を発信するため、各世帯にデジタル方式の防災行政無線の受信機を設置しています。また、緊急速報メール（エリアメール）の配信も運用開始しました。これにより市内に居れば、防災行政無線がないところでも携帯電話から避難情報を得ることができます。

さらに、市ではフェイスブックを活用し各種情報を発信しています。緊急時にはホームページと併せて、有効な災害情報の一つになります。

これ以外にも消防団による車両の広報や近所の方への声掛けなどが、情報を得るために役立ちます。得られた情報を生かし、速やかに身の安全を確保してください。

田村市フェイスブック (facebook)
<https://www.facebook.com/tamura.city>



行動

市では、災害に対する最善の防災対策がとれるように、「避難勧告」と「避難指示」を出す場合があります。これは災害対策基本法に基づいて、市長（災害対策本部長）が判断して発令します。緊急性では「避難指示」の方が「避難勧告」より高く、拘束力が強くなります。

市では、災害に対する最善の防災対策がとれるように、「避難勧告」と「避難指示」を出す場合があります。これは災害対策基本法に基づいて、市長（災害対策本部長）が判断して発令します。緊急性では「避難指示」の方が「避難勧告」より高く、拘束力が強くなります。いずれも予報や状況を総合的に判断し、災害が切迫したときに出来るものです。市から避難情報が出た場合は、速やかに身を守るため安全な場所へ避難してください。

また、避難勧告などが出ていなくても、身の回りに危険を感じたら自主的に避難することが大切です。常に防災意識を心掛けましょう。



避難する場合、建物の構造は鉄骨造や鉄筋コンクリート造が安心です。市の緊急避難の場所としては、各地区にある市所有の公民館や体育館などがあります。家の近くの避難所を確認し、家族で災害時の行動を話し合っておきましょう。

また、地震などの災害は、必ず自宅で被害に遭うとは限りません。職場や出掛けた先で被災した場合の避難所も把握しておくことが安心です。行政区域管理の集会所などは、地区内の一時避難場所になります。

なお、場合によっては、安易に屋外に出ると危険なこともありますので、適切な判断で行動をお願いします。